

第5回 意見交換会 資料

令和8年（2026年）9月26日

教育委員会事務局
学校施設管理課企画推進係

☎06-6858-2705

kyosuishin@city.toyonaka.osaka.jp

整備の進め方

豊中市では『学校施設長寿命化計画』に基づき、基本的には築年数の古い学校施設から順次整備を進めることとしています。ただし近隣の学校とセットで改築することが効率的である場合は、周辺校を含め整備することも検討していきます。

建て替え後の学校種別

豊島小・中豊島小・第四中は、児童推計に基づく、将来に渡り児童生徒数が大きく増減する見込みがないため、**これまで通りそれぞれの小中学校として、建て替えを行うことを検討しています。**

建て替え手法の選定

- ・建て替えを実施するに当たっては、様々な検討事項がありますが、建て替え計画全体に大きく影響する重要な要素である「建て替え手法」を、他の検討ポイントに先立ち、検討する必要があります。
- ・豊島小学校・中豊島小学校・第四中学校の建て替え手法は2案考えられます。
 - ⇒ **単独建て替え案(それぞれの学校敷地内で建て替えを実施する案)**
 - ⇒ **仮設校舎利用案(豊島公園内に仮設校舎を建設し、周辺の学校を順次建て替える案)**
- ・建て替えにあたっては、**工事期間中においても最適な学習環境を確保**することが重要です。

建て替え手法や、整備後の学校の姿については、地域の皆様と対話を行いながら、整備を進めてまいります。

案1 単独建替え案

単独建替え案

- ✓それぞれの学校の敷地内で建替えを実施する案
- ✓運動場部分に新校舎を建設し、完成後に旧校舎を除却します。
- ✓敷地の条件により、工事を複数工期に分けて段階的に新校舎を建設する必要があります。

■配置イメージ図

① 第四中



※新校舎は継続して使用

■工事期間:4年程度

※設計期間(2年)を合わせると整備期間は6年程度となります。

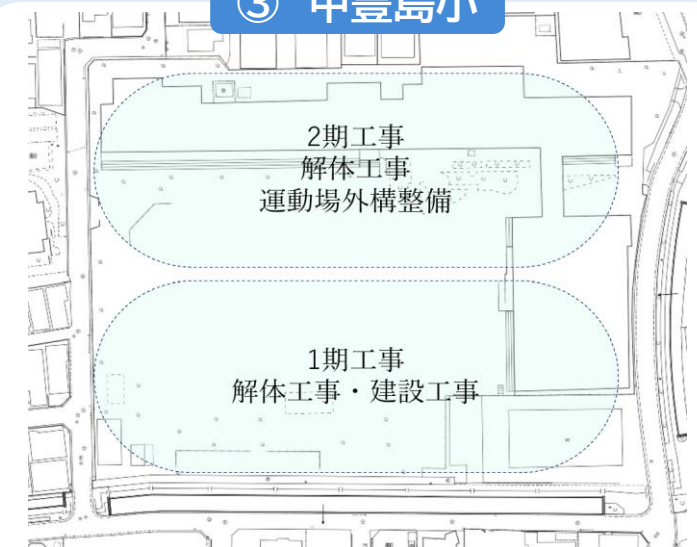
② 豊島小



■工事期間:5～7年程度

※設計期間(2年)を合わせると整備期間は7～9年程度となります。

③ 中豊島小



■工事期間:3年程度

※設計期間(2年)を合わせると整備期間は5年程度となります。

ポイント

- ・通学路は変わりません。
- ・工事による騒音、振動等の影響を受けます。
- ・学校によっては整備期間の長期化が予想されます。
- ・各校ともに運動場の利用は大幅に制限されます。

案2 仮設校舎利用案

仮設校舎利用案

- ✓ 豊島公園内に仮設校舎を建設し、周辺の学校を順次建て替える案
- ✓ 仮設校舎で児童生徒が過ごす期間は、各校3年を想定(各校の工事期間)しています。
- ✓ 小規模な体育館・運動場の設置を検討しています。

■工事期間: **計11年程度**(3校の工事期間は各3年程度)

■整備の順番(※1 ※2)

- ①豊島公園に仮設校舎建設(設計2年、工事2年程度)
- ②第四中学校の建て替え(設計2年、工事3年程度)
- ③豊島小学校の建て替え(設計2年、工事3年程度)
- ④中豊島小学の建て替え(設計2年、工事3年程度)

※1
設計期間(2年)及び仮設校舎建設期間(2年)を合わせると整備期間は計13年程度となります。

※2
整備の順番は、基本的に築年数の古い順となっておりますが、小学校・中学校で連続して建替工事期間に当たる児童生徒が出ないようにするため、第四中学校からの建て替えを検討しています。

■配置イメージ図(豊島公園)



■配置イメージ図(第四中学校)



■配置イメージ図(豊島小学校)



■配置イメージ図(中豊島小学校)



ポイント

- ・通学路の変更が生じます。
- ・工事による騒音、振動等の影響を受けることはありません。
- ・工事期間が短くなります。
- ・それぞれの学校について設計の自由度が高まります。

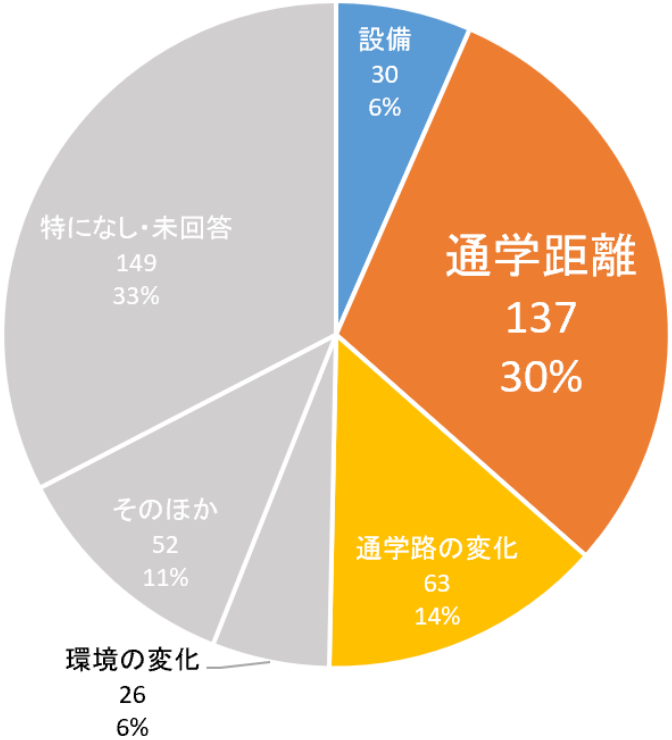
整備に伴う影響について

	仮設校舎利用案(拠点校方式)	単独建替え案 第4中	単独建替え案 豊島小	単独建替え案 中豊島小
工事期間	計11年程度 ※仮設校舎建設の2年を含む。 (各校3年程度)	合計12～14年程度 (第4中:4年程度 豊島小:5～7年程度 中豊島小:3年程度)		
運動場	敷地内に設定することを検討中	・1期工事・2期工事期間 ⇒半分程度の制限 ・3期工事期間中 ⇒ほぼ全域の制限	工事期間中、ほぼ全域の制限	工事期間中、ほぼ全域の制限
体育館	敷地内に設定することを検討中	可能な限り、工事期間中体育館が存在する状態を維持	可能な限り、工事期間中体育館が存在する状態を維持	可能な限り、工事期間中体育館が存在する状態を維持
プール	外部のプール施設(近隣の学校、公営施設、民間施設)の利用を検討	外部のプール施設(近隣の学校、公営施設、民間施設)の利用を検討	外部のプール施設(近隣の学校、公営施設、民間施設)の利用を検討	外部のプール施設(近隣の学校、公営施設、民間施設)の利用を検討
通学	居住地域によっては、通学距離が長くなる場合がある。	下校時間帯に工事車両の往来あり	下校時間帯に工事車両の往来あり	下校時間帯に工事車両の往来あり
放課後こどもクラブ	敷地内にクラブ室を設置する予定	—	工事期間中、学校敷地外部での教室確保が必要となる可能性あり	工事期間中、学校敷地外部での教室確保が必要となる可能性あり
工事に伴う影響	—	工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来	工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来	工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来
周辺への影響	・公園利用について、広場利用ができる代替場所の確保を検討中 ・工事期間中、周辺住民に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響	工事期間中、周辺住民に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響	工事期間中、周辺住民に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響	工事期間中、周辺住民に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響

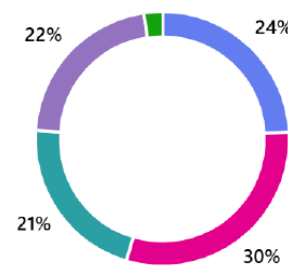
児童アンケート結果について

各建て替え案で不安なこと

仮設校舎案で不安なこと

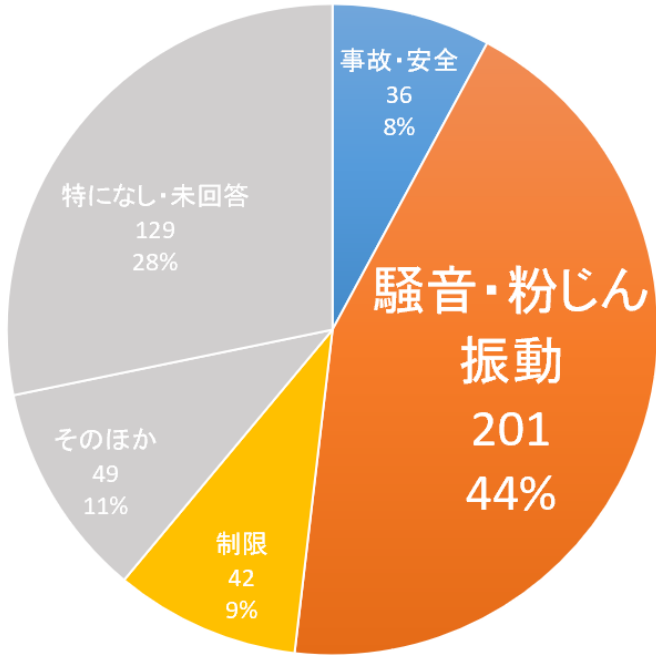


前回の保護者アンケート結果

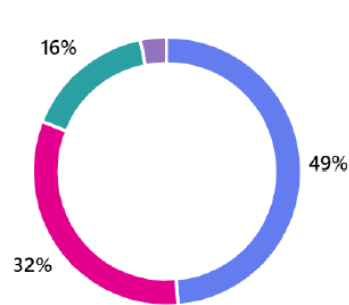


● 工事中の騒音の影響が少ない	107
● 工事期間が比較的短い	134
● 学校教育活動への影響が少ない	95
● 学校について設計の自由度が高まる	96
● その他	10

単独建て替え案で不安なこと



前回の保護者アンケート結果



● 通学環境が変わらない	404
● 慣れた場所で学習できる	270
● 豊島公園利用者への影響がない	132
● その他	26

対象

第四中学校	1年～3年
豊島小学校	4年～6年
中豊島小学校	4年～6年

参加者

第四中学校：51人
豊島小学校：230人
中豊島小学校：176人

計457人

①調整区域の設定の検討

豊中市では、お住まいの住所により就学する学校を指定していますが、一定の条件を満たす場合には、保護者の申立てにより、指定校変更(豊中市内での校区外通学)を一定期間承諾することが可能です。
⇒通学距離が2kmを超える地域に対しては近隣校区への指定校変更を検討

豊島小学校<地理的理由(調整区域)>

<例> 区域：稲津町1～3丁目
指定校変更先：高川小学校・庄内さくら学園
期間：卒業又は調整区域外へ異動するまで(建て替え後指定校に戻ることも可能)
対象：1～6年生

②スクールバスの検討

・稲津町1～3丁目を対象(2km以上のため)

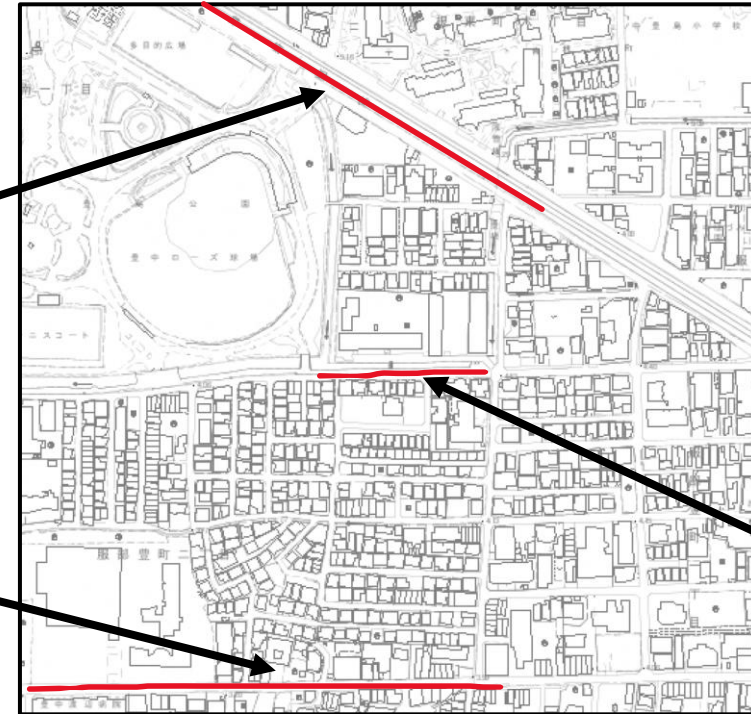
③クールスポットの検討

・通学路上にある公共施設などを利用し
クールスポットを設定



④通学路の安全確保の検討

- ・カラー舗装、看板設置等のハード面対応
- ・危険箇所へ見守り隊等の配置



既存通学路+新たな通学路
※ワークショップなどを通して検討を進めます

騒音・振動・粉じん

防音養生イメージ



イメージ



基準

騒音85db(掃除機・救急車のサイレン)

振動75db(家具や窓がわずかに揺れる程度)

粉じん基準無し

※解体・建築との距離によって影響は異なります

騒音・振動・粉じんが与える影響

作業効率・集中力の低下・会話妨害

対策

騒音:防音養生や工事用防音パネルの設置で-10~20db可能

振動:常時測定・工事車両の徐行・作業時間の制限

粉じん:散水・防塵シートの設置

※解体場所・建築場所との距離が近い場合は可能な限り少しでも距離をとれるよう教室編成を工夫します

散水養生イメージ



工事中の安全性

イメージ



安全対策

- ・工事エリアとの導線切り分け
- ・誘導員の設置を検討
- ・毎日の安全点検や危険箇所確認の徹底
- ・通学、通園の時間帯での大型車両の搬入搬出を控える
- ・建物外周には、必要に応じ飛散・飛来・落下による事故防止のための設備を設置
- ・ローリング中の教室移動に伴い、避難経路の見直しを実施

仮設校舎のイメージについて

令和8年9月26日
豊島小学校・中豊島小学校・第四中学校
意見交換用資料

＜仮設校舎イメージ＞（想定）プレハブ校舎（2階建）＋複合施設の一部合築を検討

校舎外観（イメージ）



教室（イメージ）



お手洗い（イメージ）



EV（イメージ）



廊下・踊り場（イメージ）



体育館屋上に運動場を検討（イメージ）



※体育館などの施設については、将来的な活用も見据えた整備手法を検討しています。